

第3回 箕面市都市交通戦略検討協議会 会議録

1. 日 時

平成23年10月31日（月） 14時～16時

2. 場 所

箕面市役所 本館3F 委員会室

3. 出席者

（座 長）

- ・大阪大学大学院工学研究科教授 新田保次

（副座長）

- ・大阪大学大学院工学研究科准教授 松村暢彦
- ・箕面市副市長 伊藤哲夫

（構成員）

- ・大阪府都市整備部交通道路室参事 藪内生死
（代理：都市交通課公共交通計画グループ課長補佐 進士 肇）
- ・箕面市市長政策室長 具田利男
- ・箕面市地域創造部専任理事 広瀬幸平
- ・国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所地域調整課長 青山 淳
（代理：大阪国道事務所建設監督官 山田真一）
- ・大阪府池田土木事務所地域支援・企画課長 山内一浩
（代理：地域支援・企画課企画グループ長 松井信一）
- ・箕面市みどりまちづくり部長 山田 学
- ・大阪府箕面警察署交通課長 秋田潤一
（代理：交通課交通規制係長 中川 薫）
- ・阪急電鉄株式会社都市交通事業本部都市交通計画部長 上村正美
- ・北大阪急行電鉄株式会社常務取締役鉄道部長 松本敬史
- ・阪急バス株式会社取締役自動車事業部長 西山 哲
- ・社団法人大阪タクシー協会常務理事 井田信雄
- ・みのおの交通を考える会 永田よう子
- ・箕面商工会議所専務理事 松出末生
- ・大阪船場繊維卸商団地協同組合専務理事 工藤寛士
- ・東急不動産 SCマネジメント株式会社箕面マーケットパークイワ総支配人 滝川隆文

（オブザーバー）

- ・国土交通省近畿運輸局企画観光部交通企画課長 浪越祐介
- ・国土交通省近畿地方整備局建政部都市整備課長 山本慎一郎

（欠 席）

- ・阪急バス労働組合副執行委員長 勝 正雄
- ・街づくり支援センターみのお 清田栄紀

以上、構成員20名のうち18名出席。オブザーバー2名出席。

4. 議 題

- (1) 第2回協議会の意見と対応方針について
- (2) 箕面市総合都市交通戦略たたき台について

5. 議事要旨

- (1) 第2回協議会の意見と対応方針について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○意見・質疑応答なし

- (2) 箕面市総合都市交通戦略たたき台について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○「都市交通で目指す方向性」に関する表現について、「交通体系」と「交通まちづくり」の使い分けについて、教えていただきたい。また、総合交通計画の基本方針Ⅳとの関係性も踏まえて、検討していただきたい。

→「都市交通で目指す方向性」の方向性①と③については、交通の体系付けをしていくことを考えています。方向性②については他都市から、若い世代の流入や住民の定着をたっせいするためにも、交通体系からまちづくりにつなげていくことを意図して、「交通まちづくり」という表現を使っている。ご指摘を踏まえて、再度検討する。

○交通結節点に集中するアクセス交通を円滑に処理するためには、コントロール（運用・管理）の一元化が重要だと考えている（例：バス会社が駐輪場を運営する）。また、交通結節点を整備する上では、アクセス交通の優先順位を決めることが重要である（例：バス・タクシー→サイクルシェアリング→自転車→自動車（P&R、K&R））。

→優先順位を決めた上で、交通結節点のイメージを整理していく。

○戦略や総合交通計画の目標年次である10年後や20年後も見据えて、長期的な協働方法について考えていただきたい。

→承知した。

○環境にやさしい交通として、タクシー業界でもハイブリット車両やEV車両を導入している。
→バスだけでなく、タクシーについても戦略施策4-④への盛り込むことを検討する。

○交差点の改良やバスレーンの設置を検討するためには、駅施設の整備概要やそれに伴う交通量の変化を明らかにしていただきたい。特に、国道423号については、バス専用レーンを設置するだけの余裕はないと考えられる。面的な交通処理方法も含めて、管理者と協議を進めていただきたい。

→交通結節点でのアクセス交通の優先順位も含めて、前提条件を整理し、関係機関と協議を進めていく。

○整備イメージが先走り過ぎているのではないか。

○戦略という観点でいえば、バス専用レーンのような、ある程度大胆な宣言も必要ではないか。現時点で細部を詰め過ぎることよりも、戦略のストーリーを明確にする方が大切だと思う。

→戦略イメージの表現については、「検討する。」に留めている。実現化に向けて、ある程度具体性を持った内容とするために、関係者との協議を進めていきたい。

- 関係主体については、未調整の施策もある。現時点で、事業主体や補助主体を全て明確にするのは難しいのではないかと。
 - 表現方法について、協議させていただきたい。
- シェアドスペースの具体イメージは戦略に盛り込まれているのか。
 - 戦略施策3-③にあるように、公的スペースの有効活用を事業者等と連携しながら進めたい。
- 戦略施策2-④に示されている自転車走行空間の整備イメージは、旧来の考え方である。最新の事例や考え方を取り入れて、整備案を考えていただきたい。
- 人と自転車、車と自転車ともに事故の恐れがある。双方とも事故が減るような方策を検討いただきたい。
 - 最新の情報をもとに、再度検討を進める。

(3) その他

【意見・質疑応答は次のとおり。】

- 今後の段取りについて、お教えいただきたい
 - 本協議会の意見を受け、関係機関とも協議をしながら、第4回(12/13(火))までに戦略案を作成する。その後、パブリックコメントを実施して、年度内には戦略を策定したい。なお、バス路線の再編については、事業者だけでなく近隣市町や大阪府とも調整を図っていく。

以上